

# 大分県 日出町

## 公共施設等総合管理計画



平成 29 年 3 月  
(令和 5 年 2 月改訂)



## 目次

|                                   |    |
|-----------------------------------|----|
| はじめに .....                        | 1  |
| <b>当町の現況</b>                      |    |
| 位置と地勢.....                        | 2  |
| 人口推移と将来の見通し .....                 | 2  |
| 若年層・子育て世代と少子化問題 .....             | 3  |
| 転出超過による人口減少 .....                 | 3  |
| 超高齢社会の進展.....                     | 4  |
| 経済・産業を取り巻く環境 .....                | 4  |
| <b>施設の概況</b>                      |    |
| 公共施設の延床面積 .....                   | 5  |
| 本計画において対象とする資産 .....              | 7  |
| 施設の状況.....                        | 8  |
| 公共施設（ハコモノ）の将来更新費用推計 .....         | 9  |
| 公共施設等（ハコモノ+インフラ施設）の将来更新費用推計 ..... | 10 |
| 更新単価 .....                        | 11 |
| 更新費用条件 .....                      | 12 |
| 公共施設（ハコモノ）の配置状況 .....             | 13 |
| 過去に行った対策実績 .....                  | 14 |
| 有形固定資産減価償却率の推移 .....              | 15 |
| 長寿命化対策を実施した場合の効果額 .....           | 16 |
| <b>本計画の方針</b>                     |    |
| 公共施設等総合管理計画の計画期間 .....            | 17 |
| 公共施設等総合管理計画の位置づけ .....            | 18 |
| 全庁的な取組体制の構築及び情報の一元化 .....         | 18 |
| 公共施設等の管理に関する基本的な考え方 .....         | 19 |
| 基本方針 .....                        | 20 |
| 公共施設等の維持管理方針 .....                | 20 |
| <b>公共施設等の整備の方針</b>                |    |
| 分類別方針.....                        | 22 |
| インフラ施設の整備方針 .....                 | 33 |
| <b>実行にむけて</b>                     |    |
| 今後のスケジュール .....                   | 34 |
| 日出町の再構築と活力あるまちづくりに向けて .....       | 34 |



## はじめに

日出町では、人口増加や多様な行政需要に対応するため、これまで多くの公共施設等の整備を行ってきました。特に、昭和 40 年代から 60 年代にかけて教育施設や公営住宅、体育文化施設等を建設してきました。

しかし、現在では人口が減少に転じ、今後は少子高齢化が進んでいくことが見込まれています。それに伴い、公共施設の役割についても社会情勢等にあわせた変化が求められてきます。

また、老朽化が進んだ多くの公共施設等が一斉に改修時期を迎え、多額の更新費用が必要になることが見込まれています。増え続ける社会保障費に加え、これらの更新費用が今後の町財政を圧迫することが懸念されています。

国においては、「経済財政運営と改革の基本方針～脱デフレ・経済再生～」(平成 25 年 6 月 14 日閣議決定)における「インフラの老朽化が急速に進展する中、「新しく造ること」から「賢く使うこと」への重点化が課題である。」との認識のもと、平成 25 年 11 月には、「インフラ長寿命化基本計画」が策定されました。

こうしたことを背景に平成 26 年 4 月 22 日、「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について」により各地方公共団体に対して、公共施設等総合管理計画の策定要請がありました。

これらを踏まえ、当町においては計画的な維持管理による長寿命化、更新費用の平準化を図りながら、公共施設等の適正な規模と最適な配置を検討するため、平成 29 年 3 月に「日出町公共施設等総合管理計画」を策定しました。

そして今回、策定から 5 年が経過し、さらなる国の要請により、策定済みの個別施設計画の内容等を反映させた「公共施設等総合管理計画の見直し」に取り組むこととされていることから、当町においても見直しに取り組むこととしました。



耐震化工事を行う、役場旧庁舎



# 第1章

## 当町の現況



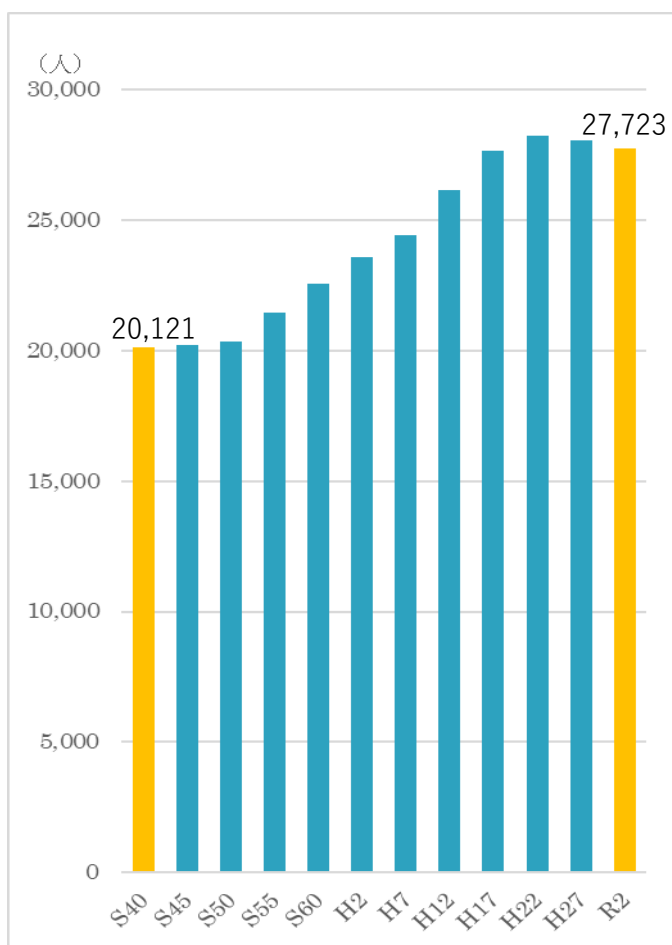
## 位置と地勢

当町は、大分県の中北部に位置しており、別府市及び杵築市に隣接し、南は別府湾に面した国東半島の入り口の町です。面積は 73.26 k m<sup>2</sup>で、東西 19.2 km、南北 9.2 kmの東西に長い形状をしています。

町内は北西部に鹿鳴越山系が広がり、南東部には別府湾に接する約 25 kmにわたる美しい海岸線が続いています。大きな河川はありませんが、湧水が多く町内の飲料水もほとんど良質な地下水で賄っています。気候は温暖で、今日まで大きな災害也没有ありません。



## 人口推移と将来の見通し



左図は昭和 40 年以降の国勢調査による当町の人口の推移をまとめたものです。

昭和 40 年から令和 2 年の間に 7,602 人増加しています。

人口増加の主な要因として、次のことがあげられます。

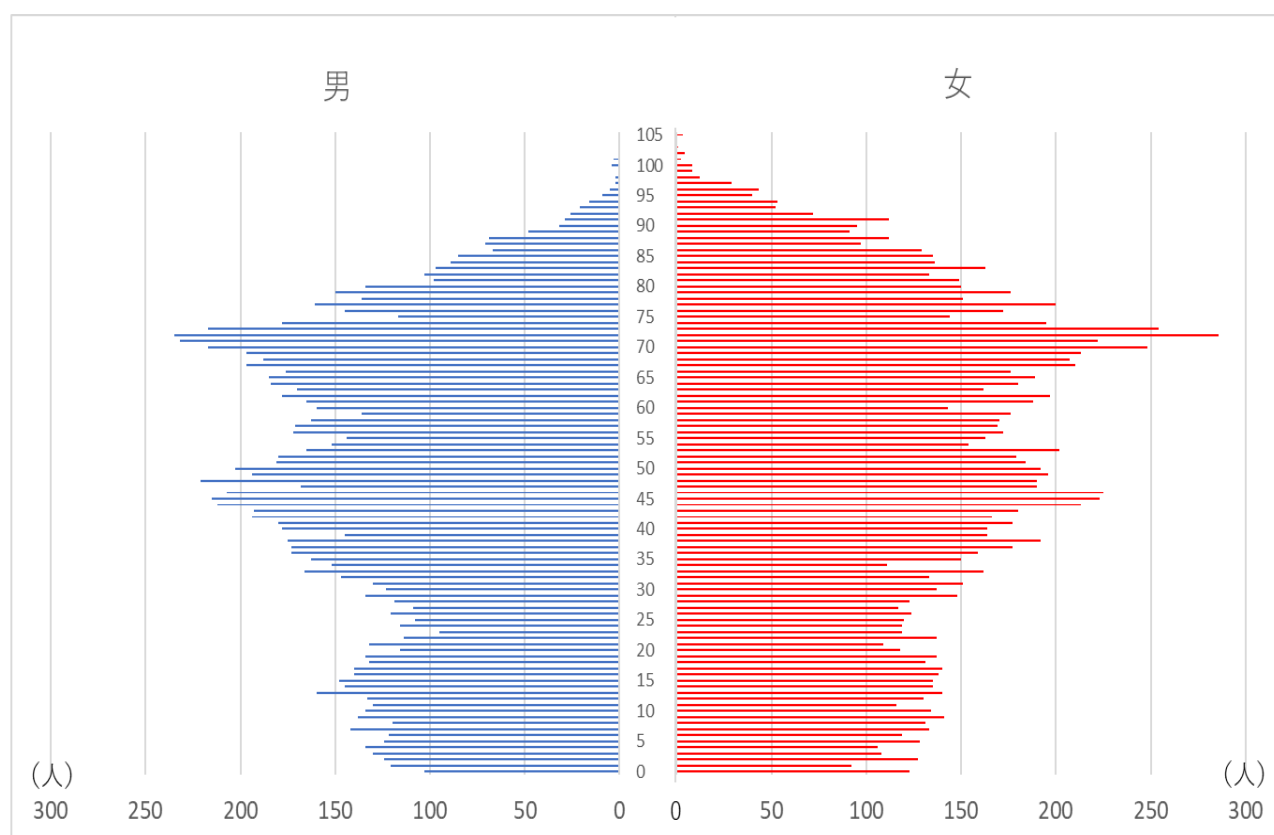
- ・町団地造成、町区画整理事業及び民間宅地開発による宅地・住宅の増加
- ・日出工業団地造成、県北・国東テクノポリス地域指定等による企業の誘致・立地
- ・暁谷駅の開通や高速・高規格道路網整備等による利便性の向上による通勤圏の拡大
- ・商業施設の進出等による生活利便性の向上

しかしながら、平成 27 年の国勢調査では人口減少に転じました。令和 2 年の国勢調査でもこの傾向は続いており、当町においても少子高齢化による人口減少期に突入していると言えます。

## 若年層・子育て世代と少子化問題

当町の人口ピラミッドには、20歳未満、特に10～20歳の層で小さいながらもふくらみを持っていることが分かります。また、20代前半の人口はいったん減少しますが、30代前半からまた増加しています。県内の自治体と比べても年少人口割合、生産年齢人口割合がともに上位の数値を維持しています。

しかしながら、20歳～24歳で極端な減少が見られます。これは、大学等卒業後の就学・就職によるものと思われます。自治体内に大学・短大・専門学校等高校卒業後の就学先又は高校・大学等修学後の就職先が少ないという課題が見えてきます。



※日出町 令和3年3月末データより作成

## 転出超過による人口減少

当町は、平成25年をピーク（4月1日時点）に人口減少に転じています。その大きな理由に転出超過が挙げられます。

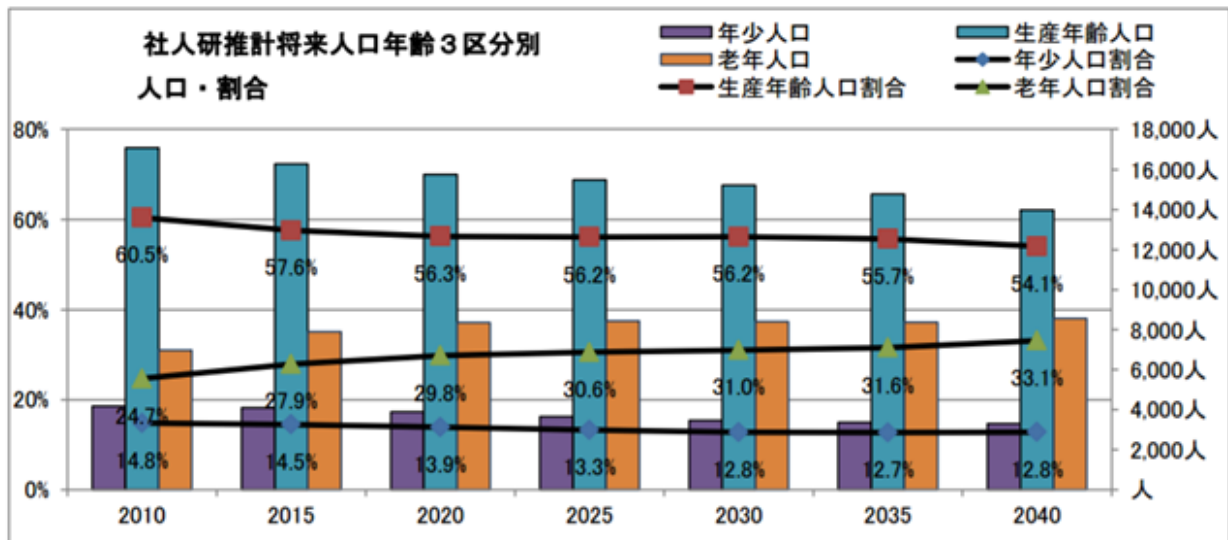
この転出動向として、県内では大分市・別府市などの中心部、県外では福岡県・東京都・熊本県といった都市圏への就職や就学のための流出が顕著になっています。

また、15歳から24歳といった、現在又は今後のまちを担う世代が転出により減少していることは、当町にとって非常に大きな課題と言えます。

## 超高齢社会の進展

下図を見ると、「高齢化」は着実に進んでいくことが分かります。

総人口の 65 歳以上（老年人口）の割合が、14%超で「高齢社会」、21%超で「超高齢社会」とであるとWHOや国連では定義づけています。これを当町に当てはめれば、平成 22 年（2010 年）時点ですでに超高齢社会に入っていることになります。



※日出町人口ビジョンより

## 経済・産業を取り巻く環境

「人口減少」は経済・産業に多大な影響を与えます。人口減少は経済活動の縮小につながると言われており、中でも生産年齢人口の減少が及ぼす影響はかなり大きいと予測されています。「人口減少」が「経済活動の規模縮小⇒町内の生産性、労働・産業力の低下」という負のスパイラルを生み、そこから更に「町内事業所の減少⇒地元就職の枠を狭める⇒就労先を求めて転出」という更なる負のスパイラルを生みます。

以上のように、当町においても人口減少や少子高齢化が進行していくことが予想されています。それに伴い、公共施設のニーズや利用状況も変化していくことが見込まれており、社会情勢にあった公共施設の在り方について検討する必要があります。



## 第2章

## 施設の概況



## 公共施設の延床面積

当町の公共施設の延床面積の総計は 103,188 ㎡です。これを、令和 3 年 3 月 31 日時点の人口(28,333 人)で割ると、町民一人当たりの公共施設の延床面積は 3.6 ㎡となります。

|              |           |
|--------------|-----------|
| 建物を有する施設数    | 94 施設     |
| 延床面積の総計      | 103,188 ㎡ |
| 町民一人あたりの延床面積 | 3.6 ㎡     |

## 公共施設一覧

| 大分類              | 中分類    | 施設数   |
|------------------|--------|-------|
| 文化系施設            | 集会施設   | 8 施設  |
| 社会教育系施設          | 歴史資料館等 | 5 施設  |
| スポーツ・レクリエーション系施設 | スポーツ施設 | 5 施設  |
| 学校教育系施設          | 学校     | 8 施設  |
| 学校教育施設（幼稚園）      | 幼稚園    | 5 施設  |
| 保健・福祉施設          | 保健施設   | 1 施設  |
|                  | 高齢福祉施設 | 1 施設  |
| 行政系施設            | 庁舎等    | 1 施設  |
|                  | 消防施設   | 21 施設 |
| 公営住宅             | 公営住宅   | 5 施設  |
| 公園               | 公園     | 16 施設 |
| その他              | その他    | 8 施設  |
| 上水道施設            | 上水道施設  | 6 施設  |
| 下水道施設            | 下水道施設  | 4 施設  |
| 合計               |        | 94 施設 |

\* 川崎工業団地工場棟及び事務所棟については、延床面積が膨大であることや、入居した場合の企業によって整備内容が異なってくることなどから、本計画とは切り離し個別に対応していきます。

## インフラの数量

インフラ施設の保有状況（道路及び橋りょう）

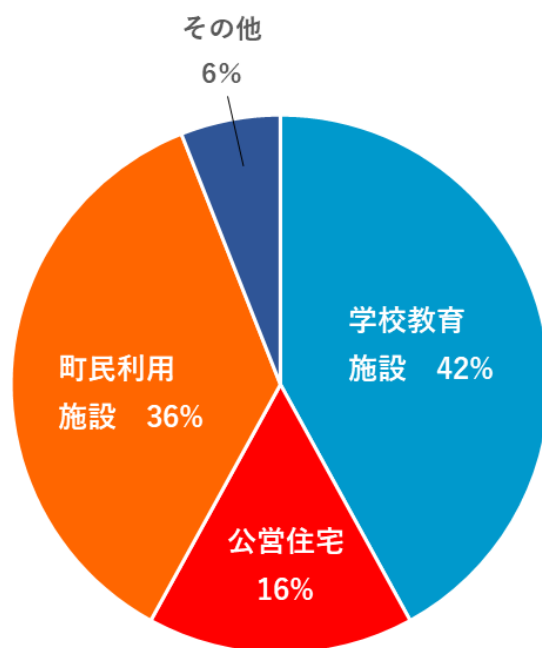
| 大分類 | 中分類  | 延長（m）     | 総面積（㎡）       |
|-----|------|-----------|--------------|
| 道路  | 町道   | 341,662.1 | 1,874,057.96 |
|     | 橋りょう | 1,725.5   | 8,940.55     |

インフラ施設の保有状況（上下水道）

| 大分類 | 中分類 | 管種  | 総延長（m）  |
|-----|-----|-----|---------|
| 水道  | 上水道 | 導水管 | 6,914   |
|     |     | 送水管 | 8,549   |
|     |     | 配水管 | 158,250 |
|     | 下水道 | -   | 74,000  |

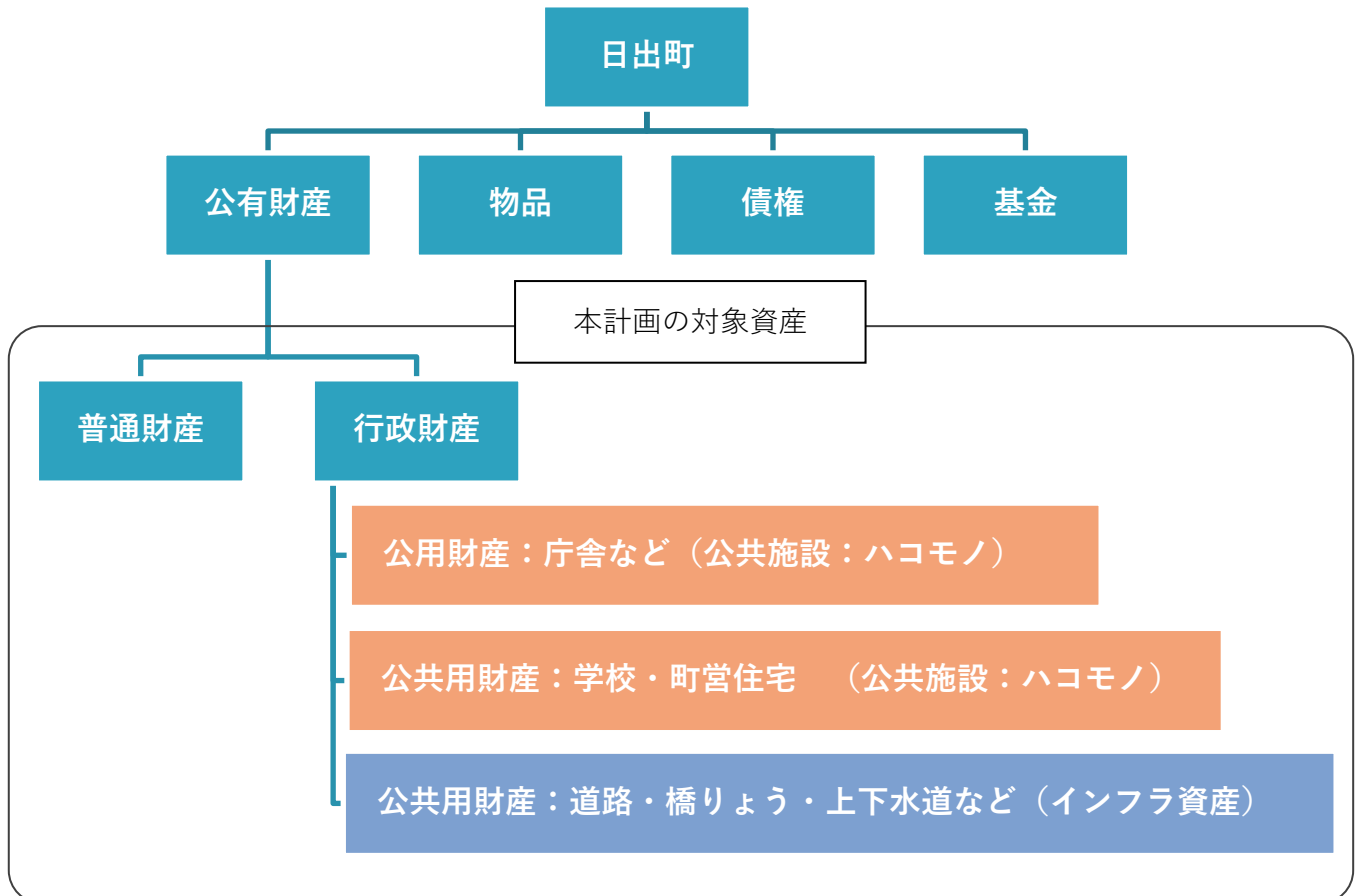
## 延床面積の内訳 [㎡]

|               |         |
|---------------|---------|
| ■ 学校教育施設      | 43,206  |
| ■ 公営住宅        | 16,454  |
| ■ 町民利用施設      | 37,000  |
| 【内訳】          |         |
| ・ 文化系施設       | 6,438   |
| ・ 社会教育系施設     | 1,780   |
| ・ スポーツ・レク系施設  | 3,610   |
| ・ 学校教育施設（幼稚園） | 1,843   |
| ・ 保健・福祉施設     | 3,613   |
| ・ 行政系施設       | 7,474   |
| ・ 公園          | 1,101   |
| ・ 上水道施設       | 2,050   |
| ・ 下水道施設       | 9,091   |
| ■ その他         | 6,528   |
| 合計            | 103,188 |



## 本計画において対象とする資産

当町の所有する固定資産は、公有財産、物品、債券、基金に大別されます。本計画では、対象とする資産は、公有財産を対象とし、そのうち、固定資産台帳に登載されている公共建築物（ハコモノ）とインフラ施設（道路、橋りょう、上下水道等）の大きく2つに大別して把握を行いました。



### 【条件】

- 令和3年3月31日時点における固定資産台帳を基準とする。  
ただし、令和3年7月に完成した新学校給食センターは含めるものとする。
- 対象施設は原則全施設とする。  
ただし、川崎工業団地工場棟及び事務所棟は除く。

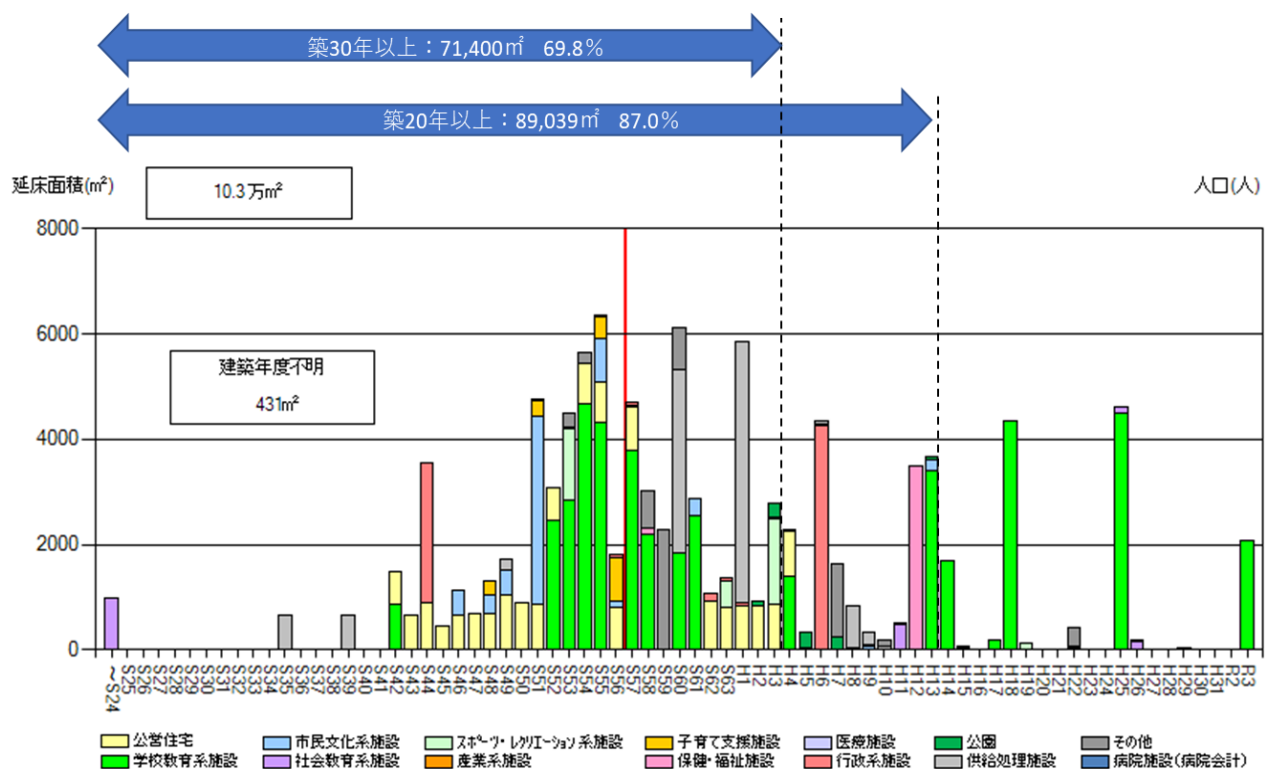
## 施設の状況

### 令和3年度末、築30年以上の公共施設は69.8%

当町の公共建築物（ハコモノ）は（財）地域総合整備財団（ふるさと財団）が配信している、「公共施設更新費用試算ソフト」における用途分類を参考に「文化系施設、社会教育系施設、スポーツ・レクリエーション系施設、学校教育系施設、学校教育施設（幼稚園）、保健福祉施設、行政系施設、公営住宅、公園、上下水道施設、その他」の11に分類し、インフラ施設は「道路、橋りょう、上水道、下水道」に分類し整理しました。

当町の公共施設数は94施設、103,188㎡となっています。上記に示した分類で建築年次ごとの施設延床面積を下図に示していますが、昭和40年代から60年代にかけて多くの公共施設が建設されていることが分かります。内訳は、学校教育系施設42%、公営住宅16%、町民利用施設36%となっています。令和3年度末、これらの公共施設のうち築20年以上の公共施設は87.0%、築30年以上の公共施設は69.8%と老朽化が進んでおり、今後大規模改修や建替えが必要となってきます。

#### << 建築年別施設の整備状況 >>



※（財）地域総合整備財団（ふるさと財団）「公共施設更新費用試算ソフト」より

## 公共施設（ハコモノ）の将来更新費用推計

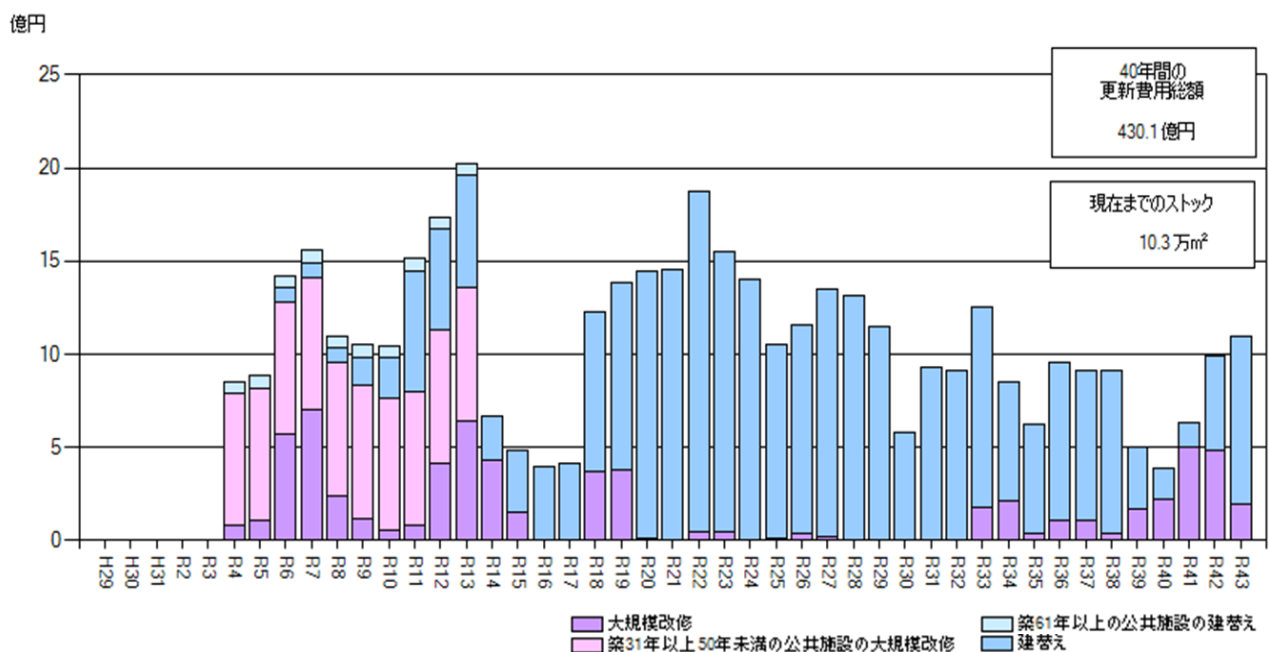
- ・ 今後 40 年間で公共施設（ハコモノ）に係る更新費用は 430.1 億円と推計
- ・ 年間平均で 10.8 億円が必要

公共施設の更新費用を試算した結果、今後 40 年間に必要な更新費用の総額は約 430.1 億円という莫大な額となり、1 年あたりでは約 10.8 億円必要となります。これを令和 3 年 3 月末の住民基本台帳人口（28,333 人）を基に町民一人当たりの負担額に直すと、その額は年間約 3.8 万円となります。

当町の過去 5 年間（H28～R2）の普通建設事業費の平均は約 11.3 億円となっています。この 5 年の間には、役場庁舎の耐震化事業や小・中学校の空調設備整備事業、学校給食センター建設事業などの大規模事業を行ったため、普通建設事業費が高い水準で推移しています。今後は公債費抑制のため、普通建設事業を抑制していかなければいけません。公共施設の更新費用に毎年約 10.8 億円かかるとすると、普通建設事業費のほとんどを施設更新費用に回さなければならず、道路などのインフラ整備や新規の普通建設事業などを行うことができなくなります。

厳しい財政状況の中、更新費用として確保できる財源には限界があります。このため、更新する公共施設の量を縮減するとともに、計画的な事前保全を実施し、可能な限り財政負担の軽減や平準化に取り組んでいく必要があります。

<< 年度別施設更新費用推計グラフ ハコモノのみ >>



※（財）地域総合整備財団（ふるさと財団）「公共施設更新費用試算ソフト」より

## 公共施設等（ハコモノ+インフラ施設）の将来更新費用推計

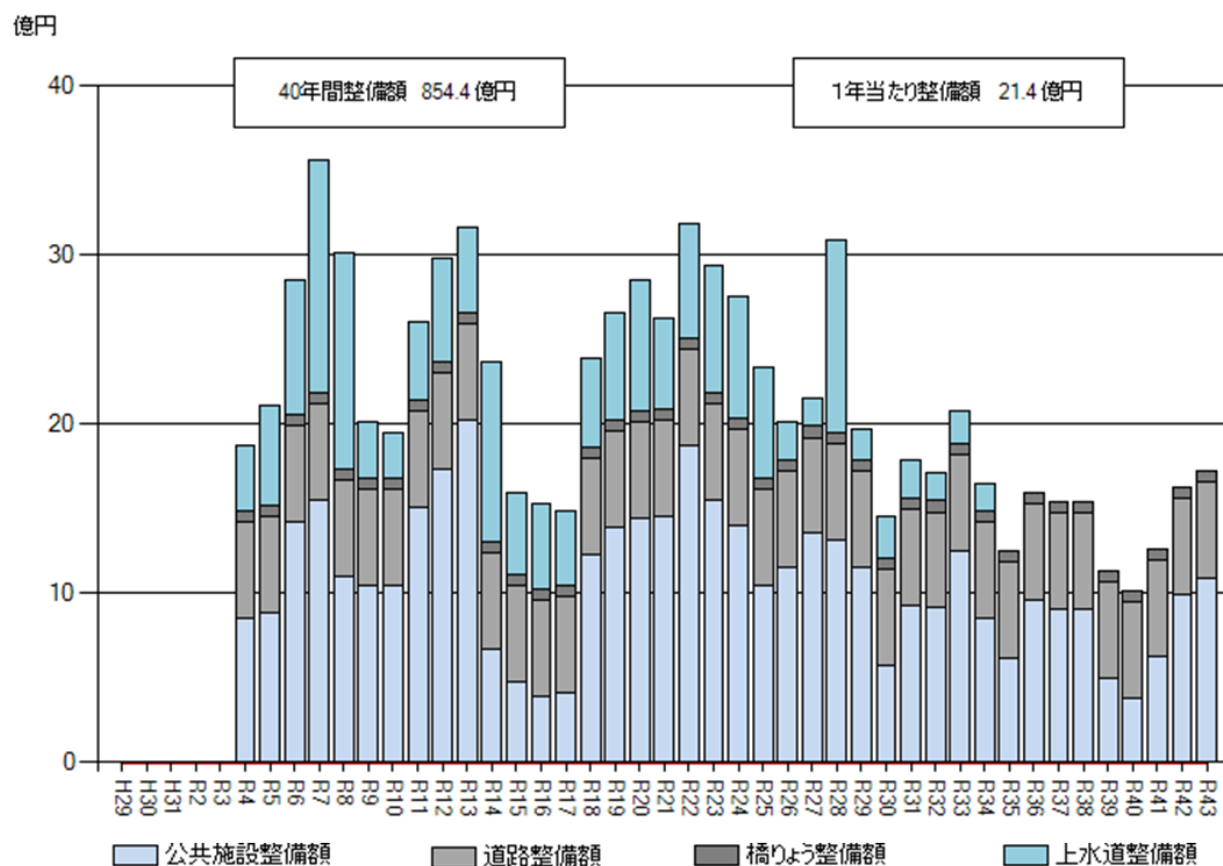
- ・ 今後 40 年間で公共施設等に係る更新費用総額は 854.4 億円と推計
- ・ 年間平均で 21.4 億円が必要

公共施設及びインフラ施設を含む公共施設等の更新費用を試算した結果、今後 40 年間に必要な更新費用の総額は、約 854.4 億円という莫大な額となり、1 年あたりでは約 21.4 億円必要となります。これを令和 3 年 3 月末の住民基本台帳人口（28,333 人）を基に町民一人当たりの負担額に直すと、その額は年間約 7.5 万円となります。

過去 5 年間（H28～R2）の普通建設事業費の平均が約 11.3 億円となっていますので、普通建設事業費全てを更新費用へ回したとしても、毎年 10 億円の更新費用が不足することになります。これまでと同様に改修・更新等への投資を継続していくとすると、当町の財政を圧迫し、他の行政サービスに重大な影響を及ぼす可能性が出てくることが予想されます。

今後は、中長期的な視点による計画的な公共施設等の再編成・管理に取り組む必要があります。

<< 年度別施設更新費用推計グラフ ハコモノ+インフラ >>



※（財）地域総合整備財団（ふるさと財団）「公共施設更新費用試算ソフト」より

## 更新単価

更新費用の算出に当たっては、全国の自治体でも多く使用されている一般財団法人地域総合整備財団公共施設等更新費用試算ソフト Ver.2.10 の積算条件に従い、算出を行っています。

### 公共施設

| 施設分類        | 大規模改修単価              | 建替え単価                |
|-------------|----------------------|----------------------|
| 文化系施設       | 25 万円/m <sup>2</sup> | 40 万円/m <sup>2</sup> |
| 社会教育系施設     | 25 万円/m <sup>2</sup> | 40 万円/m <sup>2</sup> |
| スポーツ・レク系施設  | 20 万円/m <sup>2</sup> | 36 万円/m <sup>2</sup> |
| 学校教育系施設     | 17 万円/m <sup>2</sup> | 33 万円/m <sup>2</sup> |
| 学校教育施設（幼稚園） | 17 万円/m <sup>2</sup> | 33 万円/m <sup>2</sup> |
| 保健・福祉施設     | 20 万円/m <sup>2</sup> | 36 万円/m <sup>2</sup> |
| 行政系施設       | 25 万円/m <sup>2</sup> | 40 万円/m <sup>2</sup> |
| 公営住宅        | 17 万円/m <sup>2</sup> | 28 万円/m <sup>2</sup> |
| 公園          | 17 万円/m <sup>2</sup> | 33 万円/m <sup>2</sup> |
| その他         | 20 万円/m <sup>2</sup> | 36 万円/m <sup>2</sup> |

### インフラ施設

| 施設分類 | 更新期間 | 更新単価                   |
|------|------|------------------------|
| 道路   | 15 年 | 4,700 円/m <sup>2</sup> |
| 橋りょう | 60 年 | 44.8 万円/m <sup>2</sup> |
| 上水道  | 40 年 | 9.7～15.8 万円/m          |
| 下水道  | 50 年 | 6.1～29.5 万円/m          |

## 更新費用条件

### ○更新費用の推計額

事業費ベースでの計算とする。一般財源負担見込み額を把握することが困難であるため。

### ○計算方法

延床面積×更新単価      耐用年数経過後に現在と同じ延床面積等で更新すると仮定して計算する。

### ○更新単価

すでに更新費用の試算に取り組んでいる地方公共団体の調査実績、設定単価を基に用途別に設定された単価を使用する。また、建替えに伴う解体、仮移転費用、設計料等については含むものとして想定している。

### ○大規模改修単価

建替えの 6 割と想定し、この想定単価を設定する。

### ○耐用年数

標準的な耐用年数とされる 60 年を採用する。日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」より。

### ○大規模改修

建設後 30 年で行うものとする。

### ○地域格差

地域差は考慮しないものとする。

### ○経過年数が 31 年以上 50 年までのもの

今後 10 年間で均等に大規模改修を行うものとして計算する。

### ○経過年数が 51 年以上のもの

建替え時期が近いので、大規模改修は行わずに 60 年を経た年度に建替えるものとして計算する。

### ○耐用年数が超過しているもの

今後 10 年間で均等に更新するものとして計算する。

### ○建替え期間

設計、施工と複数年度にわたり費用が掛かることを考慮し、建替え期間を 3 年間として計算する。

### ○修繕期間

設計、施工と複数年度にわたり費用が掛かることを考慮し、修繕期間を 2 年間として計算する。

(一般財団法人地域総合整備財団公共施設等更新費用試算ソフト Ver.2.10 を使用)

## 公共施設（ハコモノ）の配置状況

当町にある 94 施設の配置状況は、次のようになっております。



※OpenStreetMap より一部加工

大字と施設分類別施設数一覧 [施設数]

| 施設分類        | 南畑 | 豊岡 | 日出 | 藤原 | 川崎 | 大神 | 真那井 | 計  |
|-------------|----|----|----|----|----|----|-----|----|
| 文化系施設       | 2  | 2  | 1  | 1  | 1  | 1  | 0   | 8  |
| 社会教育系施設     | 0  | 0  | 5  | 0  | 0  | 0  | 0   | 5  |
| スポーツ・レク系施設  | 0  | 0  | 4  | 0  | 1  | 0  | 0   | 5  |
| 学校教育系施設     | 0  | 1  | 2  | 2  | 1  | 2  | 0   | 8  |
| 学校教育施設(幼稚園) | 0  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 0   | 5  |
| 保健・福祉施設     | 0  | 0  | 1  | 1  | 0  | 0  | 0   | 2  |
| 行政系施設       | 2  | 3  | 4  | 4  | 3  | 5  | 1   | 22 |
| 公営住宅        | 0  | 2  | 1  | 1  | 1  | 0  | 0   | 5  |
| 公園          | 0  | 4  | 7  | 1  | 1  | 3  | 0   | 16 |
| その他         | 2  | 0  | 4  | 0  | 1  | 0  | 1   | 8  |
| 上下水道施設      | 0  | 4  | 1  | 2  | 0  | 3  | 0   | 10 |
| 計           | 6  | 17 | 31 | 13 | 10 | 15 | 2   | 94 |

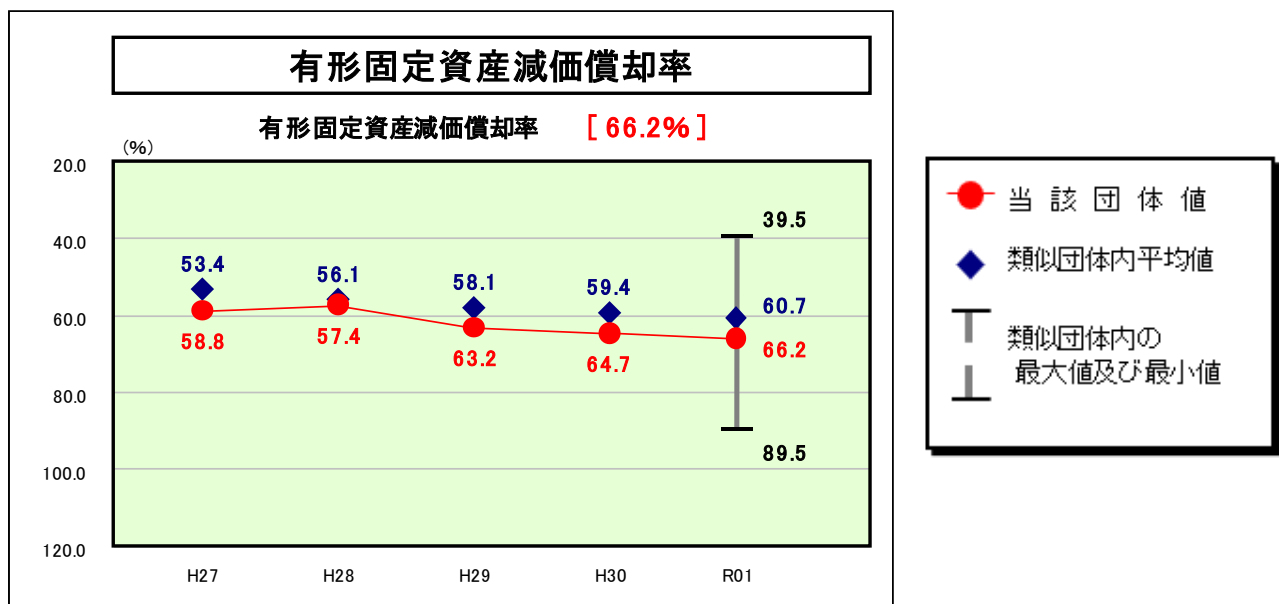
## 過去に行った対策実績

本計画の策定時から令和２年度までの間に取り組んだ公共施設等の長寿命化等にかかる主な対策は以下のとおりです。

| 実施<br>年度 | 種別     | 名称                            | 内容               | 事業費<br>(千円) |
|----------|--------|-------------------------------|------------------|-------------|
| H29      | 公共施設   | 糸ヶ浜海浜公園（公園管理棟）                | 増改築              | 24,135      |
| H29      | 公共施設   | 仁王住宅（A-3・A-4）                 | 長寿命化工事<br>（外壁改修） | 20,663      |
| H29      | 公共施設   | 消防機庫（第４分団第１部）                 | 新設（更新）           | 5,983       |
| H30      | 公共施設   | 仁王住宅（A-5・A-6・A-7）             | 長寿命化工事<br>（外壁改修） | 21,600      |
| H30      | インフラ資産 | 町道（今畑線・豊岡住宅団地線<br>・軒の井塩屋西浜線）  | 長寿命化工事<br>（舗装修繕） | 19,990      |
| R1       | 公共施設   | 仁王住宅（A-8・A-9）                 | 長寿命化工事<br>（外壁改修） | 23,973      |
| R1       | 公共施設   | 学校給食センター                      | 新設（更新）           | 101,298     |
| R1       | インフラ資産 | 町道（豊岡住宅団地線・<br>豊岡団地法花寺線・三尺山線） | 長寿命化工事<br>（舗装修繕） | 19,967      |
| R2       | 公共施設   | 豊岡コミュニティセンター                  | 長寿命化工事           | 32,005      |
| R2       | 公共施設   | 仁王住宅（B-3・B-4）                 | 長寿命化工事<br>（外壁改修） | 27,636      |
| R2       | 公共施設   | 学校給食センター                      | 新設（更新）           | 782,416     |
| R2       | インフラ資産 | 町道（須崎新田線・<br>豊岡住宅団地線）         | 長寿命化工事<br>（舗装修繕） | 32,991      |

## 有形固定資産減価償却率の推移

数値が高いほど施設の老朽化が進行していることを表す有形固定資産減価償却率は50%を超え、類似団体平均、全国平均、県平均をともに上回っています。特に建物については、昭和40～50年代に整備された資産も多く、耐用年数を超えているものもあり、減価償却率は70%近くにまで達しています。厳しい財政状況の中ですが、時期・費用の平準化を図りながら、施設の維持管理、更新や長寿命化等を行っていかねばなりません。



「令和元年度財政状況資料集」より

### 有形固定資産減価償却率

保有している有形固定資産のうち、償却資産の取得価額等に対する減価償却累計額の割合を算出することにより、耐用年数に対して資産の取得からどの程度経過しているのかを全体として把握することが可能となります。具体的な計算式は下記のとおりです。

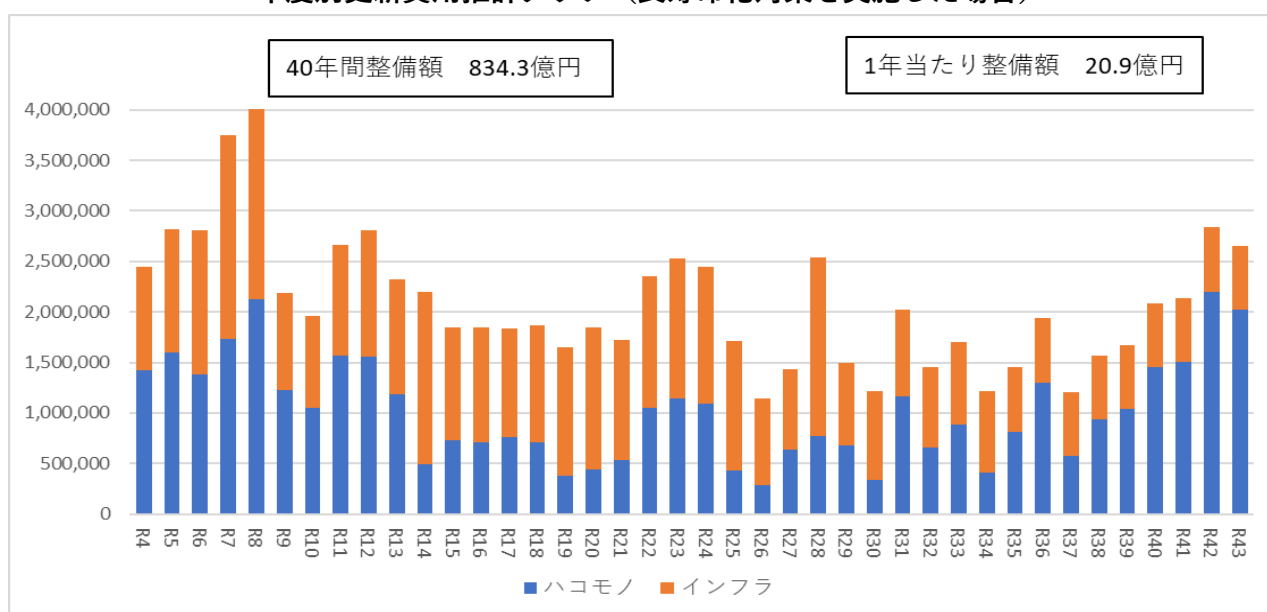
$$\text{有形固定資産減価償却率} = \frac{\text{減価償却累計額}}{\text{有形固定資産合計} - \text{土地等の非償却資産} + \text{減価償却累計額}}$$

## 長寿命化対策を実施した場合の効果額

全ての施設（公共施設及びインフラ施設）について、長寿命化対策を実施した場合、将来的な更新費用の推計額は 40 年間で 834.3 億円、1 年間で 20.9 億円となります。単純更新と比較すると、40 年間で約 20 億円、1 年あたり約 5,000 万円の削減効果が見込まれます。

更新費用の算出条件の設定により、当初の 10 年間（R4～R13）をはじめ、長寿命化の方が費用負担が多くなることもありますが、老朽化状況を見ながら実施時期の平準化を行うことで、一定の効果が見込まれることが分かります。

<< 年度別更新費用推計グラフ（長寿命化対策を実施した場合） >>



<< 今後 10 年間ごとの更新費用の比較 >>

|      | R4～R13     | R14～R23    | R24～R33    | R34～R43    | 計          |
|------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 単純更新 | 26,106,418 | 23,634,819 | 21,339,931 | 14,351,802 | 85,432,970 |
| 長寿命化 | 27,796,945 | 19,692,148 | 17,178,168 | 18,758,262 | 83,425,523 |
| 差    | 1,690,527  | -3,942,671 | -4,161,763 | 4,406,460  | -2,007,447 |

### 長寿命化対策を実施した場合の更新費用の推計方法

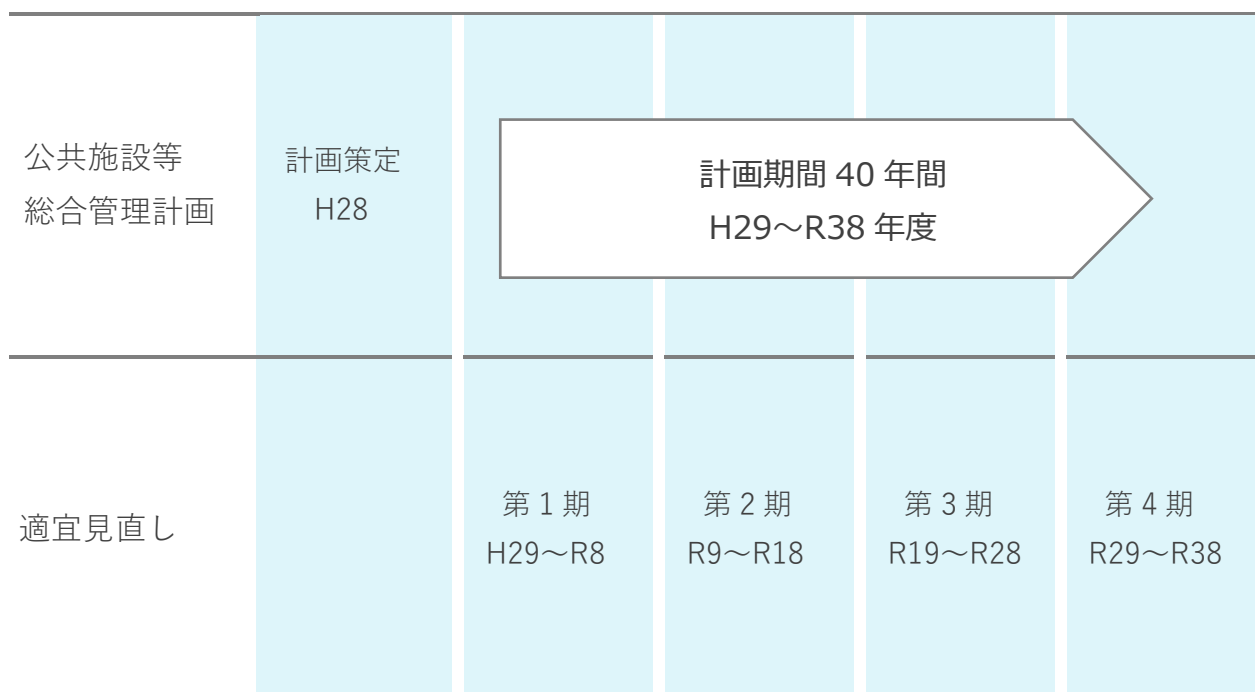
- ・ 更新費用は、単純更新の場合と同じ。
- ・ 建設後 20 年目と 60 年目に予防保全型の大規模改修を実施。単価は建替えの 25% に設定。
- ・ 建設後 40 年目で長寿命化改修。単価は建替えの 60% に設定。
- ・ 長寿命化対策の実施により、更新時期は建設後 80 年目に延伸する。  
(単純更新の場合、更新時期は建設後 60 年目のため、20 年の延命となる。)

(文部科学省による学校長寿命化計画策定用ソフトを使用)

## 第3章 本計画の方針



## 公共施設等総合管理計画の計画期間



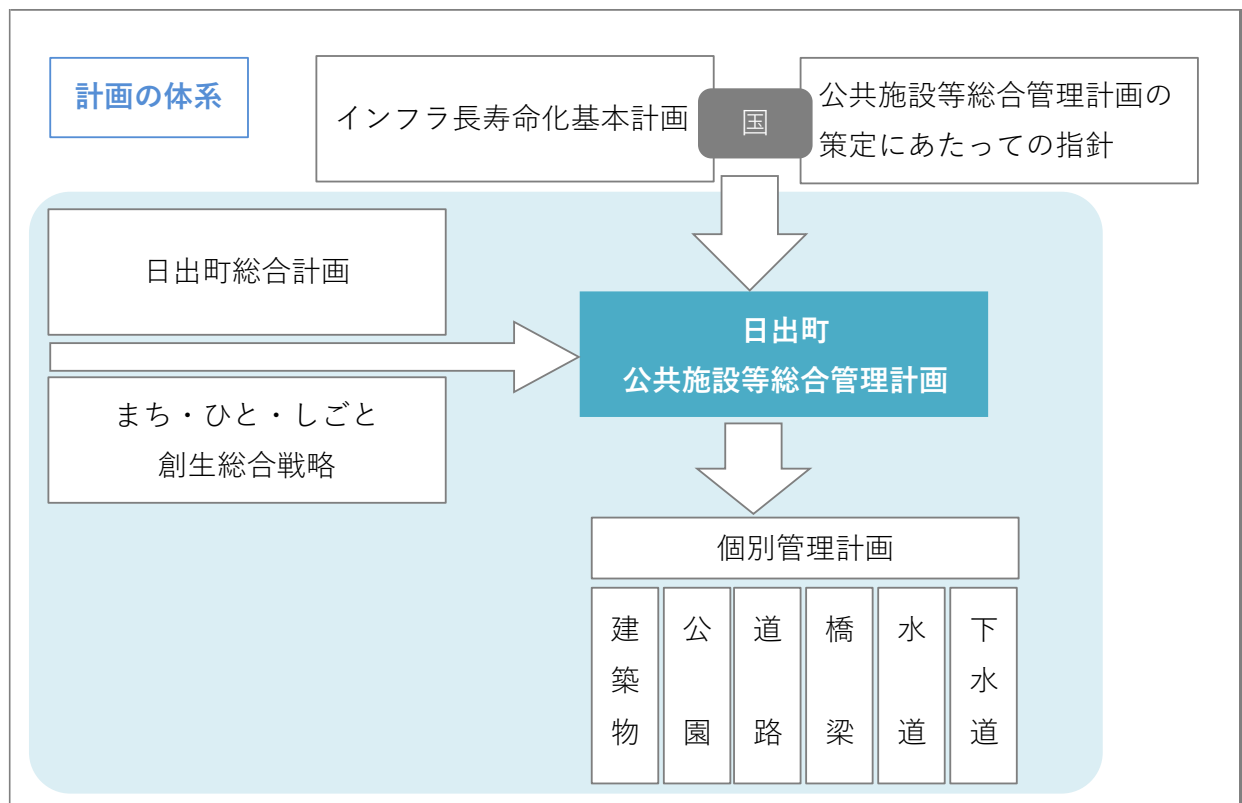
### 計画期間の考え方

当町の今後の公共施設更新費用を試算すると、令和 10 年代から令和 30 年代にかけて、多額の更新費用がかかることが想定されており、この公共施設等総合管理計画の策定にあたっては中長期的な視点をもって策定する必要があります。

そこで当町では平成 29 年度を基準年として、更新費用が集中する令和 30 年代までの 40 年間の計画期間とします。

なお、平成 29 年度から令和 8 年度までを第 1 期とし、以降 10 年間ごとに第 2 期から第 4 期に分け、財政状況や社会経済情勢等に応じ適宜見直しを行っていきます。

## 公共施設等総合管理計画の位置づけ



本計画は当町の上位計画である総合計画を下支えするものであり、町が行う公共施設等の最適化や維持管理に関する今後の方向性や基本的な取り組みを示すものです。

変化する社会情勢等に対応した各分野の政策的な取り組みを行う中で、限られた資産を有効に活用するために、常に財政計画と連動させながら無理のない施設管理を行っていきます。

分野ごとに長寿命化等の指針を定めた「個別管理計画」の上位計画と位置づけ、当町の全ての公共施設等に対しての横断的な指針を提示するものです。

## 全庁的な取組体制の構築及び情報の一元化

### ① 全庁的な取組体制

公共施設等総合管理計画策定の目的は、公共施設等の更新や維持費にかかる財政負担の軽減・平準化であります。そのため、本計画は常に財政計画との整合性が必要となることから、財政計画を所掌する財政課が中心となり、各公共施設等の所管部署との連携を図りながら効果的で効率的な推進体制づくりを行います。

## ② 情報管理の一元化

これまでの公共施設等の維持管理については、それぞれの所管部署で行い、その情報についてもそれぞれの所管部署で所有し、情報の一元化ができていませんでした。

今後は、公共施設等を総体的に把握できるように取組んでいきます。また、全体計画の中で各公共施設等が効果的かつ効率的にその機能発揮が図られるよう、固定資産台帳の整備によりデータの一元化を行いました。今後は、マネジメントにも資するシステム構築なども視野に、公共施設等の情報を一元管理することを目指します。

## 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

### 現状や課題に関する基本認識

- 平成 25 年をピークに人口減少に転じる。
- 社会保障費が増え続ける中、厳しい財政状況が続く。
- 老朽化が進み、令和 3 年度末で築 30 年以上の公共施設は 69.8%。

### ① 人口について

当町の人口は、平成 25 年をピークに人口減少に転じています。主な理由は、転出者増に伴う社会減です。今後も人口減少は続くことが予想されます。

### ② 財政状況について

人口の減少に伴い町税収入等一般財源の減少が予想されることに加えて、少子・高齢化に伴う扶助費等の義務的経費の増加により、公共施設等の維持管理のための財源確保が難しくなることが見込まれます。

### ③ 公共施設等の更新・改修について

これまで整備した公共施設等の老朽化が進んでいます。今後、これらの公共施設等の改修・更新等の費用が増大することが見込まれ、町の財政を圧迫し、他の行政サービスに重大な影響を及ぼすことが予想されます。計画的な公共施設の管理を行うために、全町的に公共施設・インフラ資産についての情報を一元管理し、より計画的・効率的な施設マネジメントを進めていく必要があります。

## 基本方針

公共施設の現状を踏まえ、下記の方針を設定します。

- 公共施設の新規整備は原則行いません
- 公共施設等に不具合が生じないように予防保全を行います
- 長寿命化・維持補修を計画的に行い、更新費用の平準化を行います
- 社会情勢等の変化に応じた適正配置に努めます
- PPP／PFIの活用を図ります

## 公共施設等の維持管理方針

### ① 点検・診断等の実施方針

公共施設等の機能を少ない経費で長期間維持させるために、劣化が進む前に計画的な点検や劣化診断を行います。

さらに、点検・診断等の履歴を集積・蓄積することで、修繕、更新等の実施時期や老朽化対策における検討を行う上での基礎資料として活用していきます。

### ② 維持管理・修繕・更新等の実施方針

当町では、令和7年度ごろから更新費用の増大が見込まれます。中長期的な視点に立ち、施設の老朽化の状況を的確に把握した上で、年度ごとの更新費用の軽減及び平準化につながるよう優先順位等を整理しながら、施設の修繕等を行っていきます。

### ③ 安全確保・耐震化の実施方針

点検・診断等によって危険性が高いと認められた施設や、老朽化の激しい施設については、安全の確保を優先させ緊急的に対策を講じます。公共施設等は平常時の安全だけでなく、災害時における拠点施設としての安全・機能確保を図ることが必要です。これらの観点から、耐震化が完了していない施設については、耐震診断及び耐震補強を推進していきます。

#### **④ 長寿命化の推進方針**

長寿命化については、持続可能な財政運営の観点から、中長期的に見たライフサイクルコストの削減とともに、将来更新費用の平準化にも主眼を置いて実施していきます。

特に、公共施設等については、劣化が進む前に計画的に点検・劣化診断を行い、計画的な維持管理・更新を行うことで施設の長寿命化を図ります。

インフラ施設についても、定期的な点検・診断等により劣化・損傷の程度や原因等を把握し、計画的な修繕・更新を行います。

#### **⑤ ユニバーサルデザイン化の推進方針**

改修等にあたり、高齢者や障がい者等の自立した日常生活及び社会生活を確保するため、公共施設等のバリアフリー化に取り組むとともに、年齢や性別、障がいの有無、国籍等の違いに関わらず、誰もが使用しやすい設計として、ユニバーサルデザインの考え方に配慮します。

#### **⑥ 統合や廃止の推進方針**

当町における人口構造の変化は緩やかであり、公共施設等に対するニーズは、急激に変化はしないものと想定しており、すぐに施設の統合や廃止を行う可能性は低いものと考えています。

しかし、今後の財政状況や施設の利用状況、行政サービスの需要等の変化に応じて、周辺施設の利用や施設規模の適正化も含めて、公共施設等の集約化や廃止等の検討を行っていきます。

#### **⑦ 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針**

総合的かつ計画的な管理を実現するための取り組みは、各施設所管部署と連携しながら全庁的に行います。必要に応じて職員研修の実施や既存の庁内会議を活用しつつ、今後の公共施設等のあり方について検討していきます。

#### **⑧ フォローアップの実施方針**

フォローアップにあたり、各公共施設等の所管部署と連携しながら、既存の庁内会議も活用しつつ、計画の確実な実行に向けた進行管理を行っていきます。

#### **⑨ 脱炭素化の推進方針**

地球温暖化対策計画（令和３年１０月２２日閣議決定）及び日出町地球温暖化対策実行計画を踏まえ、公共施設における再生可能エネルギーを活用した設備の導入など、公共施設等の脱炭素化に向けた取り組みを推進します。



## 第4章

# 公共施設等の 整備の方針



## 分類別方針

### 文化系施設

#### ○現状と課題

- ・文化系にかかる建物面積は 6,438 m<sup>2</sup>です。
- ・すべての施設が建築後 30 年以上経過しています。
- ・経過年数が長いものが多く、今後の施設の在り方について検討する必要があります。

#### ○対象施設（建築年順）

| 施設名称         | 延床面積<br>[m <sup>2</sup> ] | 建築年[年] | 経過年数<br>[年] | 建物構造     | 大字 | 経過年数      |           |           |           |
|--------------|---------------------------|--------|-------------|----------|----|-----------|-----------|-----------|-----------|
|              |                           |        |             |          |    | 10年以<br>上 | 20年<br>以上 | 30年<br>以上 | 40年<br>以上 |
| 豊岡コミュニティセンター | 485                       | 昭和46年  | 50          | 鉄筋コンクリート | 豊岡 |           |           |           |           |
| 藤原地区公民館      | 385                       | 昭和49年  | 47          | 鉄筋コンクリート | 藤原 |           |           |           |           |
| 川崎地区公民館      | 526                       | 昭和50年  | 46          | 鉄筋コンクリート | 川崎 |           |           |           |           |
| 日出町中央公民館     | 2,877                     | 昭和51年  | 45          | 鉄筋コンクリート | 日出 |           |           |           |           |
| 大神地区公民館      | 892                       | 昭和51年  | 45          | 鉄筋コンクリート | 大神 |           |           |           |           |
| 豊岡地区公民館      | 809                       | 昭和56年  | 40          | 鉄筋コンクリート | 豊岡 |           |           |           |           |
| 南端コミュニティセンター | 124                       | 昭和56年  | 40          | 鉄筋コンクリート | 南畑 |           |           |           |           |
| 南端地区公民館      | 340                       | 昭和62年  | 34          | 鉄筋コンクリート | 南畑 |           |           |           |           |

#### ○今後の方針

| 視点 | 取組方針                                                 |
|----|------------------------------------------------------|
| 質  | 安全の確保や長寿命化を図るため、予防保全に努めます。<br>施設の在り方について検討する必要があります。 |
| 量  | 利用状況等を踏まえ、周辺の公共施設、類似施設との集約化や多機能化を検討します。              |
| 費用 | 総量の縮減や運営方法の見直しにより費用の削減を検討します。                        |

# 社会教育系施設

## ○現状と課題

- ・社会教育系にかかる建物面積は 1,780 ㎡です。
- ・的山荘については、現在指定管理者制度を活用し店舗として運営しています。しかしながら築後 100 年以上が経過しており老朽化が進んでいます。施設改修には莫大な費用がかかることが想定されており、早急に今後の利活用について検討する必要があります。

## ○対象施設（建築年順）

| 施設名称             | 延床面積<br>[㎡] | 建築年[年] | 経過年数<br>[年] | 建物構造     | 大字 | 経過年数      |           |           |           |
|------------------|-------------|--------|-------------|----------|----|-----------|-----------|-----------|-----------|
|                  |             |        |             |          |    | 10年以<br>上 | 20年<br>以上 | 30年<br>以上 | 40年<br>以上 |
| 的山荘              | 992         | 大正4年   | 106         | 木造       | 日出 |           |           |           |           |
| 日出町歴史資料館・帆足萬里記念館 | 505         | 昭和59年  | 37          | 鉄筋コンクリート | 日出 |           |           |           |           |
| 裏門櫓              | 33          | 平成22年  | 11          | 木造       | 日出 |           |           |           |           |
| 鬼門櫓              | 98          | 平成25年  | 8           | 木造       | 日出 |           |           |           |           |
| 致道館              | 152         | 平成26年  | 7           | 木造       | 日出 |           |           |           |           |

## ○今後の方針

| 視点 | 取組方針                                                                                          |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 質  | 築後 100 年を超える的山荘については、今後の施設利用の在り方を検討するとともに、個別の修繕計画を策定する予定です。<br>その他の施設については、日々の点検により予防保全を図ります。 |
| 費用 | 指定管理者制度の活用や施設の管理費削減を図りながら、計画的な修繕を図り費用の平準化を図ります。                                               |

# スポーツ・レクリエーション系施設

## ○現状と課題

- ・スポーツ・レクリエーション系施設にかかる建物面積は 3,610 m<sup>2</sup>です。
- ・建築後 30 年以上経過している施設が、5 施設中 3 施設あります。
- ・今後中長期的にみると、大規模修繕や建替えにかかる将来費用が継続的に必要となることが推察されます。

## ○対象施設（建築年順）

| 施設名称          | 延床面積<br>[m <sup>2</sup> ] | 建築年[年] | 経過年数<br>[年] | 建物構造     | 大字 | 経過年数      |           |           |           |
|---------------|---------------------------|--------|-------------|----------|----|-----------|-----------|-----------|-----------|
|               |                           |        |             |          |    | 10年以<br>上 | 20年<br>以上 | 30年<br>以上 | 40年<br>以上 |
| 日出町営体育館       | 1,385                     | 昭和53年  | 43          | 鉄筋コンクリート | 日出 |           |           |           |           |
| 日出町柔剣道場       | 483                       | 昭和63年  | 32          | 鉄骨造      | 日出 |           |           |           |           |
| 日出町川崎体育館      | 1,442                     | 平成3年   | 30          | 鉄筋コンクリート | 川崎 |           |           |           |           |
| 日出町営弓道場       | 185                       | 平成4年   | 29          | 木造       | 日出 |           |           |           |           |
| 日出町営エアライフル射撃場 | 115                       | 平成19年  | 14          | 木造       | 日出 |           |           |           |           |

## ○今後の方針

| 視点 | 取組方針                                        |
|----|---------------------------------------------|
| 質  | 安全確保や長寿命化を図るため、予防保全に努めます。                   |
| 量  | 利用状況等を踏まえながら、類似施設との集約化等を検討します。              |
| 費用 | 利用者を増やす取り組みを行うとともに、計画的な修繕により維持管理費の平準化を図ります。 |

# 学校教育系施設

## ○現状と課題

- ・学校教育系施設にかかる建物面積は 43,206 ㎡です。
- ・建築後 30 年以上経過している施設の割合が多く 8 施設中 4 施設あります。
- ・小中学校の耐震化工事は終わっていますが、学校施設の建替には莫大な費用がかかります。  
そのため、できる限り施設の長寿命化を図りながら、安全安心に利用できるような日々の点検を強化していかなければなりません。

## ○対象施設（建築年順）

| 施設名称        | 延床面積<br>[㎡] | 建築年[年] | 経過年数<br>[年] | 建物構造     | 大字 | 経過年数      |           |           |           |
|-------------|-------------|--------|-------------|----------|----|-----------|-----------|-----------|-----------|
|             |             |        |             |          |    | 10年以<br>上 | 20年<br>以上 | 30年<br>以上 | 40年<br>以上 |
| 川崎小学校       | 4,557       | 昭和53年  | 43          | 鉄筋コンクリート | 川崎 |           |           |           |           |
| 日出中学校       | 8,254       | 昭和54年  | 42          | 鉄筋コンクリート | 日出 |           |           |           |           |
| 藤原小学校       | 3,926       | 昭和55年  | 41          | 鉄筋コンクリート | 藤原 |           |           |           |           |
| 大神中学校       | 3,865       | 昭和58年  | 38          | 鉄筋コンクリート | 大神 |           |           |           |           |
| 日出小学校       | 5,926       | 平成13年  | 20          | 鉄筋コンクリート | 日出 |           |           |           |           |
| 大神小学校       | 7,050       | 平成18年  | 15          | 鉄筋コンクリート | 大神 |           |           |           |           |
| 豊岡小学校       | 7,556       | 平成25年  | 8           | 鉄筋コンクリート | 豊岡 |           |           |           |           |
| 日出町学校給食センター | 2,072       | 令和3年   | 0           | 鉄骨造      | 藤原 |           |           |           |           |

## ○今後の方針

| 視点 | 取組方針                                          |
|----|-----------------------------------------------|
| 質  | 学校施設については、存続が必要とされる施設は安全確保と長寿命化を目的に予防保全に努めます。 |
| 量  | 空き教室が生じた場合には、周辺施設の代替施設としての利用について検討します。        |
| 費用 | 運営・管理費用の削減や設備における省エネ対策を検討します。                 |

# 学校教育施設（幼稚園）

## ○現状と課題

- ・幼稚園施設にかかる建物面積は 1,843 ㎡です。
- ・すべての施設が建築後 30 年以上経過しています。
- ・すべての施設で耐震基準は満たしているものの、老朽化は進んでいます。将来的には園児数の減少などが想定されており、施設規模等を検討する必要があります。

## ○対象施設（建築年順）

| 施設名称  | 延床面積<br>[㎡] | 建築年[年] | 経過年数<br>[年] | 建物構造     | 大字 | 経過年数      |           |           |           |
|-------|-------------|--------|-------------|----------|----|-----------|-----------|-----------|-----------|
|       |             |        |             |          |    | 10年以<br>上 | 20年<br>以上 | 30年<br>以上 | 40年<br>以上 |
| 藤原幼稚園 | 278         | 昭和49年  | 47          | 鉄筋コンクリート | 藤原 |           |           |           |           |
| 日出幼稚園 | 306         | 昭和52年  | 44          | 鉄筋コンクリート | 日出 |           |           |           |           |
| 豊岡幼稚園 | 438         | 昭和56年  | 40          | 鉄筋コンクリート | 豊岡 |           |           |           |           |
| 川崎幼稚園 | 415         | 昭和57年  | 39          | 鉄筋コンクリート | 川崎 |           |           |           |           |
| 大神幼稚園 | 406         | 昭和57年  | 39          | 鉄筋コンクリート | 大神 |           |           |           |           |

## ○今後の方針

| 視点 | 取組方針                                                                                     |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 質  | 園舎をはじめとする施設・設備も設置から多年が経過したものが多く存在する状況です。定期的な点検を実施し、計画的な補修等を図るなかで子どもたちが安全に過ごせる環境づくりを進めます。 |
| 量  | 学校区ごとの幼稚園は存続していきますが、園児数の減少が見込まれる場合には施設規模の縮小等を検討していきます。                                   |
| 費用 | 維持修繕を計画的に行い、費用の増大を防ぎます。                                                                  |

# 保健・福祉施設

## ○現状と課題

- ・保健・福祉施設にかかる建物面積は 3,613 m<sup>2</sup>です。
- ・建築後 30 年以上経過している施設が、2 施設中 1 施設あります。

## ○対象施設（建築年順）

| 施設名称     | 延床面積<br>[㎡] | 建築年[年] | 経過年数<br>[年] | 建物構造     | 大字 | 経過年数      |           |           |           |
|----------|-------------|--------|-------------|----------|----|-----------|-----------|-----------|-----------|
|          |             |        |             |          |    | 10年以<br>上 | 20年<br>以上 | 30年<br>以上 | 40年<br>以上 |
| 老人憩の家    | 108         | 昭和59年  | 37          | 木造       | 日出 |           |           |           |           |
| 保健福祉センター | 3,505       | 平成13年  | 20          | 鉄筋コンクリート | 藤原 |           |           |           |           |

## ○今後の方針

| 視点 | 取組方針                                           |
|----|------------------------------------------------|
| 質  | 安全の確保や長寿命化を図るため予防保全に努めます。                      |
| 量  | 老朽化した施設については、今後の利用動向を踏まえつつ、周辺の公共施設との集約化を検討します。 |
| 費用 | 管理費用の削減や省エネ対策を検討します。                           |

# 行政系施設

## ○現状と課題

- ・ 行政系施設にかかる建物面積は 7,474 m<sup>2</sup>です。
- ・ 22 施設中、14 施設が建築後 30 年以上経過しています。

## ○対象施設（建築年順）

| 施設名称     | 延床面積<br>[m <sup>2</sup> ] | 建築年[年] | 経過年数<br>[年] | 建物構造        | 大字  | 経過年数      |           |           |           |
|----------|---------------------------|--------|-------------|-------------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|
|          |                           |        |             |             |     | 10年以<br>上 | 20年<br>以上 | 30年<br>以上 | 40年<br>以上 |
| 6－3 消防機庫 | 24                        | 昭和55年  | 41          | コンクリートﾌﾞﾛｯｸ | 豊岡  |           |           |           |           |
| 2－2 消防機庫 | 30                        | 昭和56年  | 40          | コンクリートﾌﾞﾛｯｸ | 大神  |           |           |           |           |
| 1－2 消防機庫 | 30                        | 昭和57年  | 39          | コンクリートﾌﾞﾛｯｸ | 大神  |           |           |           |           |
| 7－2 消防機庫 | 30                        | 昭和57年  | 39          | コンクリートﾌﾞﾛｯｸ | 南畑  |           |           |           |           |
| 3－3 消防機庫 | 30                        | 昭和58年  | 38          | コンクリートﾌﾞﾛｯｸ | 川崎  |           |           |           |           |
| 1－1 消防機庫 | 35                        | 昭和62年  | 34          | 鉄筋コンクリート    | 真那井 |           |           |           |           |
| 2－1 消防機庫 | 27                        | 昭和62年  | 34          | 鉄筋コンクリート    | 大神  |           |           |           |           |
| 1－4 消防機庫 | 27                        | 昭和63年  | 33          | コンクリートﾌﾞﾛｯｸ | 大神  |           |           |           |           |
| 3－2 消防機庫 | 27                        | 昭和63年  | 33          | コンクリートﾌﾞﾛｯｸ | 川崎  |           |           |           |           |
| 5－3 消防機庫 | 27                        | 昭和63年  | 33          | コンクリートﾌﾞﾛｯｸ | 日出  |           |           |           |           |
| 7－1 消防機庫 | 27                        | 昭和63年  | 33          | 鉄筋コンクリート    | 南畑  |           |           |           |           |
| 4－4 消防機庫 | 30                        | 平成1年   | 32          | 鉄筋コンクリート    | 藤原  |           |           |           |           |
| 1－3 消防機庫 | 27                        | 平成2年   | 31          | コンクリートﾌﾞﾛｯｸ | 大神  |           |           |           |           |
| 3－1 消防機庫 | 28                        | 平成2年   | 31          | コンクリートﾌﾞﾛｯｸ | 川崎  |           |           |           |           |
| 4－2 消防機庫 | 27                        | 平成4年   | 29          | コンクリートﾌﾞﾛｯｸ | 藤原  |           |           |           |           |
| 5－1 消防機庫 | 28                        | 平成5年   | 28          | コンクリートﾌﾞﾛｯｸ | 日出  |           |           |           |           |
| 日出町役場    | 6,874                     | 平成6年   | 27          | 鉄骨造         | 日出  |           |           |           |           |
| 6－2 消防機庫 | 27                        | 平成6年   | 27          | コンクリートﾌﾞﾛｯｸ | 豊岡  |           |           |           |           |
| 5－2 消防機庫 | 27                        | 平成9年   | 24          | コンクリートﾌﾞﾛｯｸ | 日出  |           |           |           |           |
| 4－3 消防機庫 | 31                        | 平成16年  | 17          | 鉄筋コンクリート    | 藤原  |           |           |           |           |
| 6－1 消防機庫 | 30                        | 平成22年  | 11          | コンクリートﾌﾞﾛｯｸ | 豊岡  |           |           |           |           |
| 4－1 消防機庫 | 31                        | 平成29年  | 4           | コンクリートﾌﾞﾛｯｸ | 藤原  |           |           |           |           |

## ○今後の方針

| 視点 | 取組方針                                                        |
|----|-------------------------------------------------------------|
| 質  | 多くの人が出入りする庁舎は、旧庁舎の耐震化工事が完了しました。今後も安全の確保や長寿命化を図るため予防保全に努めます。 |
| 費用 | 計画的な維持修繕を行うとともに、省エネ対策を実施し管理費用の削減を行います。                      |

# 公営住宅

## ○現状と課題

- ・ 公営住宅にかかる建物面積は 16,454 ㎡です。
- ・ すべての施設が建築後 30 年以上経過しています。
- ・ 人口減少や少子高齢化の影響により、将来的な住宅必要数の把握が課題です。

## ○対象施設（建築年順）

| 施設名称  | 延床面積<br>[㎡] | 建築年[年] | 経過年数<br>[年] | 建物構造     | 大字 | 経過年数      |           |           |           |
|-------|-------------|--------|-------------|----------|----|-----------|-----------|-----------|-----------|
|       |             |        |             |          |    | 10年以<br>上 | 20年<br>以上 | 30年<br>以上 | 40年<br>以上 |
| 青津山住宅 | 4,675       | 昭和47年  | 49          | 木造       | 川崎 |           |           |           |           |
| 辻間住宅  | 415         | 昭和49年  | 47          | 鉄筋コンクリート | 豊岡 |           |           |           |           |
| 藤原住宅  | 3,026       | 昭和50年  | 46          | 鉄筋コンクリート | 藤原 |           |           |           |           |
| 豊岡住宅  | 3,187       | 昭和56年  | 40          | 鉄筋コンクリート | 豊岡 |           |           |           |           |
| 仁王住宅  | 5,151       | 昭和62年  | 34          | 鉄筋コンクリート | 日出 |           |           |           |           |

## ○今後の方針

| 視点 | 取組方針                                       |
|----|--------------------------------------------|
| 質  | 居住者の安全確保のため、日々の点検により予防保全に努めます。             |
| 量  | 民間物件の利活用を検討するとともに、適正な量を確保しつつ保有総量を削減していきます。 |
| 費用 | 計画的な修繕を行うことで、維持管理費の平準化を図ります。               |

# 公園

## ○現状と課題

- ・公園にかかる建物面積は 1,101 ㎡です。
- ・16 施設中、4 施設が建築後 30 年以上経過しています。今後も中長期的にみても、大規模修繕や建替えにかかる将来費用が継続的に必要となることが推察されます。

## ○対象施設（建築年順）

| 施設名称         | 延床面積<br>[㎡] | 建築年[年] | 経過年数<br>[年] | 建物構造     | 大字 | 経過年数      |           |           |           |
|--------------|-------------|--------|-------------|----------|----|-----------|-----------|-----------|-----------|
|              |             |        |             |          |    | 10年以<br>上 | 20年<br>以上 | 30年<br>以上 | 40年<br>以上 |
| 豊岡児童公園       | 7           | 昭和51年  | 45          | 鉄筋コンクリート | 豊岡 |           |           |           |           |
| 辻間北児童公園      | 7           | 昭和53年  | 43          | 鉄筋コンクリート | 日出 |           |           |           |           |
| 辻間南児童公園      | 4           | 昭和55年  | 41          | 鉄筋コンクリート | 日出 |           |           |           |           |
| 城下公園         | 16          | 平成3年   | 30          | 鉄筋コンクリート | 日出 |           |           |           |           |
| 糸ヶ浜海浜公園      | 814         | 平成4年   | 29          | 木造       | 大神 |           |           |           |           |
| 黒岩公園         | 34          | 平成5年   | 28          | 鉄筋コンクリート | 日出 |           |           |           |           |
| 城下海岸ふれあい公園   | 17          | 平成5年   | 28          | 鉄筋コンクリート | 豊岡 |           |           |           |           |
| 安養寺ふれあい公園    | 83          | 平成7年   | 26          | 木造       | 藤原 |           |           |           |           |
| 住吉ふれあい公園     | 19          | 平成7年   | 26          | 木造       | 大神 |           |           |           |           |
| 三川街区公園       | 14          | 平成8年   | 25          | 鉄筋コンクリート | 豊岡 |           |           |           |           |
| 島山児童公園       | 10          | 平成9年   | 24          | 鉄筋コンクリート | 豊岡 |           |           |           |           |
| 上仁王街区公園      | 10          | 平成11年  | 22          | 鉄筋コンクリート | 日出 |           |           |           |           |
| 向園児童公園       | 14          | 平成15年  | 18          | 鉄筋コンクリート | 日出 |           |           |           |           |
| 大田公園         | 16          | 平成15年  | 18          | 鉄筋コンクリート | 日出 |           |           |           |           |
| 川崎運動公園       | 7           | 平成20年  | 13          | 鉄筋コンクリート | 川崎 |           |           |           |           |
| 回天大神訓練基地記念公園 | 29          | 平成27年  | 6           | 木造       | 大神 |           |           |           |           |

## ○今後の方針

| 視点      | 取組方針                            |
|---------|---------------------------------|
| 質<br>費用 | 定期的に施設の点検を実施し、計画的な補修に努めます。      |
| 量       | 人口動向や利用状況を踏まえ、施設の集約化や撤去等を検討します。 |

# 上下水道施設

## ○現状と課題

- ・供給処理施設にかかる建物面積は 11,141 ㎡です。
- ・10 施設中、6 施設が建築後 30 年以上経過しています。町民の生活に直結する施設であることから、日々の点検による安全な施設運営が必要です。

## ○対象施設（建築年順）

| 施設名称           | 延床面積<br>[㎡] | 建築年[年] | 経過年数<br>[年] | 建物構造     | 大字 | 経過年数      |           |           |           |
|----------------|-------------|--------|-------------|----------|----|-----------|-----------|-----------|-----------|
|                |             |        |             |          |    | 10年以<br>上 | 20年<br>以上 | 30年<br>以上 | 40年<br>以上 |
| 小田城浄水場         | 1,314       | 昭和40年  | 56          | 鉄筋コンクリート | 豊岡 |           |           |           |           |
| 三川導水場          | 210         | 昭和50年  | 46          | 鉄筋コンクリート | 豊岡 |           |           |           |           |
| 日出町浄化センター      | 7,506       | 昭和60年  | 36          | 鉄筋コンクリート | 豊岡 |           |           |           |           |
| 今村浄水場          | 150         | 昭和61年  | 35          | 鉄筋コンクリート | 藤原 |           |           |           |           |
| 笹原配水地          | 76          | 昭和61年  | 35          | 鉄筋コンクリート | 藤原 |           |           |           |           |
| 洲崎汚水中継ポンプ場     | 1,124       | 平成1年   | 32          | 鉄筋コンクリート | 日出 |           |           |           |           |
| 大神漁業集落浄化センター   | 61          | 平成6年   | 27          | 鉄筋コンクリート | 大神 |           |           |           |           |
| 原山地区農業集落浄化センター | 400         | 平成8年   | 25          | 鉄筋コンクリート | 大神 |           |           |           |           |
| 大神浄水場          | 228         | 平成9年   | 24          | 鉄筋コンクリート | 大神 |           |           |           |           |
| 長野配水地          | 72          | 平成10年  | 23          | 鉄筋コンクリート | 豊岡 |           |           |           |           |

## ○今後の方針

| 視点 | 取組方針                                        |
|----|---------------------------------------------|
| 質  | 町民が安心して生活できるように、日々の点検を行い、事後保全でなく予防保全に努めます。  |
| 費用 | 計画的な修繕により、維持管理費の平準化に努めるとともに、省エネ対策を検討していきます。 |

## その他

### ○現状と課題

- ・その他にかかる建物面積は 6,528 ㎡です。
- ・8 施設中、6 施設が建設後、30 年以上経過しています。

### ○対象施設（建築年順）

| 施設名称             | 延床面積<br>[㎡] | 建築年[年] | 経過年数<br>[年] | 建物構造     | 大字  | 経過年数      |           |           |           |
|------------------|-------------|--------|-------------|----------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|
|                  |             |        |             |          |     | 10年以<br>上 | 20年<br>以上 | 30年<br>以上 | 40年<br>以上 |
| 耕地会館             | 431         | 不明     | 不明          | 鉄骨造      | 日出  |           |           |           |           |
| 深見記念館            | 249         | 昭和53年  | 43          | 木造       | 日出  |           |           |           |           |
| 旧真那井幼稚園          | 204         | 昭和55年  | 41          | 鉄筋コンクリート | 真那井 |           |           |           |           |
| 旧日出町学校給食センター     | 717         | 昭和59年  | 37          | 鉄骨造      | 川崎  |           |           |           |           |
| 旧南端小学校           | 1,508       | 昭和60年  | 36          | 鉄筋コンクリート | 南畑  |           |           |           |           |
| 旧南端中学校           | 1,689       | 昭和61年  | 35          | 鉄筋コンクリート | 南畑  |           |           |           |           |
| 日出地区広域型増殖場中間育成施設 | 1,378       | 平成7年   | 26          | 鉄骨造      | 日出  |           |           |           |           |
| 二の丸館             | 352         | 平成22年  | 11          | 木造       | 日出  |           |           |           |           |

### ○今後の方針

| 視点 | 取組方針                                  |
|----|---------------------------------------|
| 質  | 安全確保と長寿命化を図るため、日々の点検により予防保全に努めます。     |
| 量  | 遊休施設については貸付や売却を検討します。                 |
| 費用 | 管理費用の削減及び計画的な修繕を行うことで、維持管理費の平準化に努めます。 |

## インフラ施設の整備方針

道路をはじめとする土木インフラについては、公共施設に比べて廃止や転用が難しいことから、これらを維持していくことを前提に長寿命化を図っていきます。長寿命化を図るうえで現状把握のための定期点検等を行い、計画的なマネジメントを行います。

### ① 道路

道路については、職員による日常点検や地区住民からの情報提供により、劣化や損傷を把握しています。生活道路の整備や維持管理については、住民の安全・安心に直結することから、緊急性や利用状況等を踏まえながら整備路線の選定や計画的な修繕を行い、更新費用の平準化を図ります。

### ② 橋梁

当町はこれまでに道路利用者の安全性や利用状況等に応じて維持管理を行ってきましたが、近年国内外の橋梁におきまして、橋梁の老朽化を原因とする重大な損傷が発生しており、維持管理の重要性が求められています。当町が管理する橋梁において、従来のような損傷が深刻化してから対応を行う事後的管理による補修及び架替えでは、利用者への危険性や維持管理費の増大に繋がる恐れがあります。

今後は、当町が管理する道路橋を安全・安心に利用していただくとともに、これからの維持管理費用をできるだけ抑制するために「日出町橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、修繕の必要な箇所を早期に発見し修繕していくという予防保全型管理に取り組みます。

### ③ 上下水道

老朽化した配管の計画的な更新事業を進めるとともに、施設の適正な維持管理を行い総費用の平準化を目指します。公共下水道は、公共用水域の水質の保全や公衆衛生の向上、浸水被害の防除を目的とした重要な都市基盤であることから、より効果的な下水道管の整備を計画的に推進します。また今後、下水道施設の老朽化が懸念されることから長寿命化対策や計画的な更新を行うことで、費用の適正化を目指します。

### ④ 公園

公園機能の長寿命化及び公園利用者の安全を確保するためには、計画的な修繕・管理計画を検討する必要があります。公園施設の長寿命化対策を図ることにより、公園機能を保全しながら、ライフサイクルコストの削減に努めなければいけません。

そのため、年1度の定期点検及び日常点検により施設の劣化や損傷を把握していきます。

# 第5章

## 実行にむけて



## 今後のスケジュール

### 必要となる費用は、全体の予算編成を踏まえながらその確保に努める

本計画は当町の公共施設等を維持管理する上での基本方針です。

平成 29 年以降は基本方針である本計画を踏まえ、公共施設等のデータベース化と町民ニーズを図り、施設別に分析評価結果に基づく具体的な取組みを進めます。

## 日出町の再構築と活力あるまちづくりに向けて

### まちづくりの視点からの公共施設再編

今後は、公共施設等総合管理計画に基づき、町全体の公共施設の有効活用を前提に、施設の再配置やリノベーション、移転・廃止後の跡地利用、観光拠点のにぎわいづくり等、日出町の再構築の視点から活用を進めることで、まちづくりにもつながる公共施設運営に取り組めます。

### 総合的な視点での優先順位付け、選択と集中

個々の公共施設等について、日出町立図書館のように PPP 等の手法の活用を含めて、短期的な費用ではなくライフサイクルコストを引き下げ、費用対効果の高い公共施設等マネジメントの方向性を推進する必要があります。

総合的な視点で優先順位を付け、「選択と集中」により限られた資源を効果的に活用することも求められます。人口構造や町民ニーズの変化に伴う行政サービス需要の変化、立地する公共施設等のバランス、各施設の機能を踏まえた、適切な公共施設マネジメントを進めていきます。

## 参 考

### PPP(Public Private Partnership)とは

公共と民間が連携して公共サービスの提供を「枠組みをもった計画」で行うことを PPP（公民連携）と呼びます。

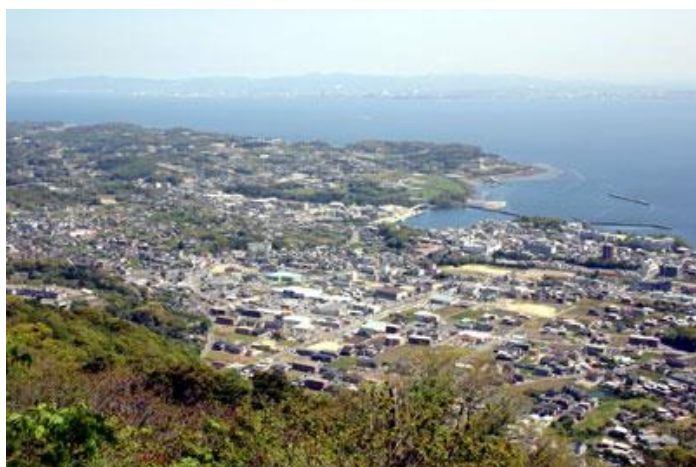
PPP の中には、PFI、指定管理者制度、公設民営（DBO）方式、さらに包括的民間委託、自治体業務のアウトソーシングなども含まれます。なお、PFI は PPP の代表的な手法の一つです。

### PFI(Private Finance Initiative)とは

公共施工等の設計や建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図るという考え方です。







令和 5 年 2 月発行

発画・編行：日出町財政課

〒879-1592

大分県速見郡日出町 2974 番地 1

TEL 0977-73-3111

URL <http://www.town.hiji.oita.jp/>